

令和8年3月2日

保護者 様

春日井市立勝川小学校
校長 村上 洋

学校評価アンケート結果について（お知らせ）

雨水の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

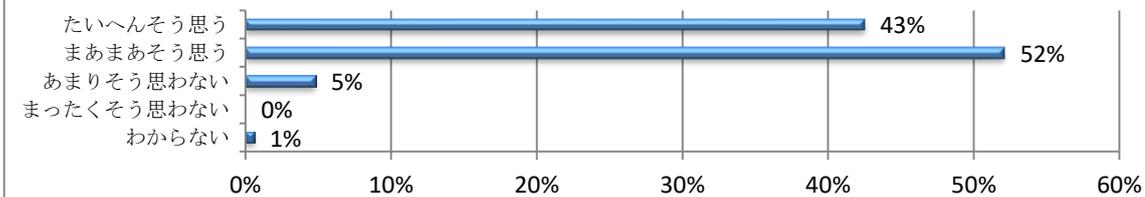
日ごろは、本校の教育活動のために、格別なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度「学校評価」のアンケートを実施しましたところ、167名の方から貴重なご意見やお考えを聞かせていただくことができました。お忙しい中、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。前年度に比べ、回答数が減少した点については、学校側からの周知不足や回答方法の変更などに課題があったものと重く受け止めております。次年度はより多くの皆様にご回答いただけるような環境づくりを図ってまいります。引き続き、学校運営へご協力いただきますようお願い申し上げます。

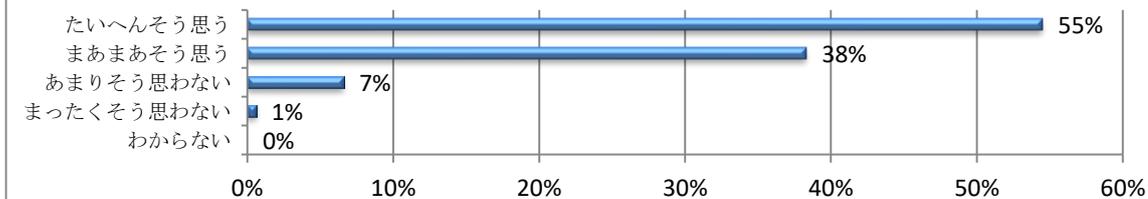
以下は、皆様から寄せられましたアンケートの結果です。

令和7年度学校評価アンケート結果

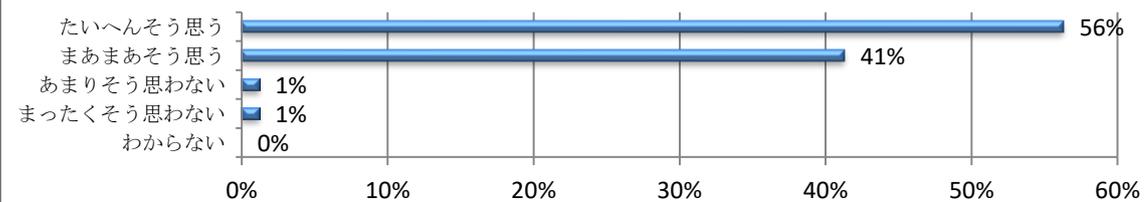
1 子どもたちは、確かな学力（生きて働く知識・技能）（未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力）を身に付けている。



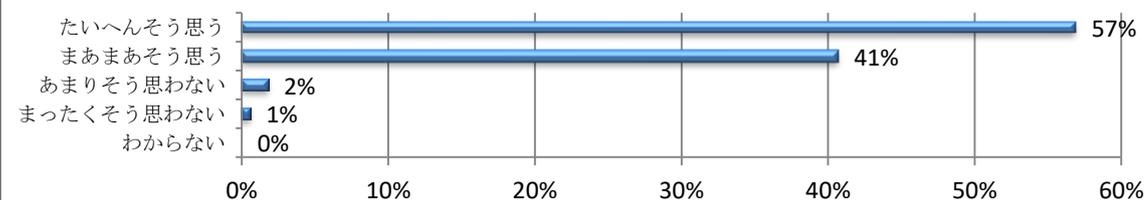
2 子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいる。（学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等）



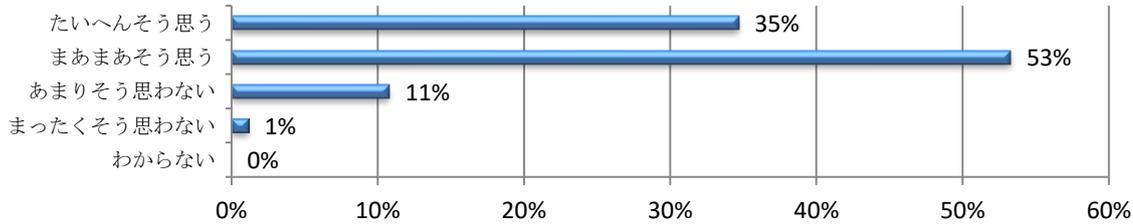
3 子どもたちは、豊かな心（人間性）を身に付けている。（自分とともに周りの人を大切にする心）



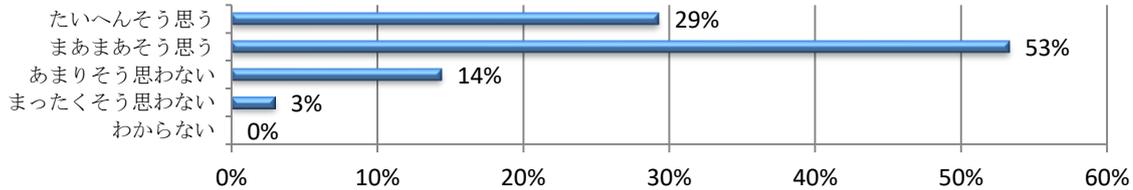
4 子どもたちは、健やかな体を身に付けている。（命・体を大切にする心と基本的な体力）



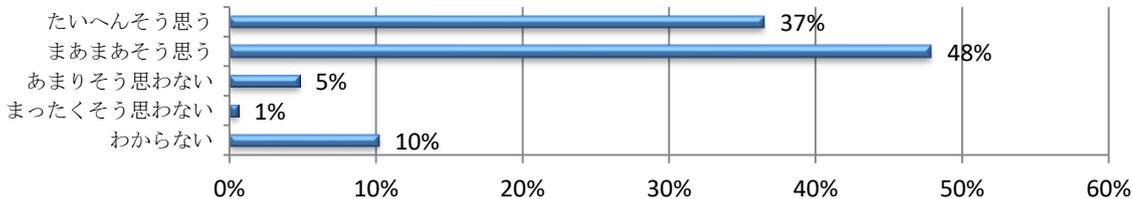
5 子どもたちは、あいさつや返事がきちんとできる。



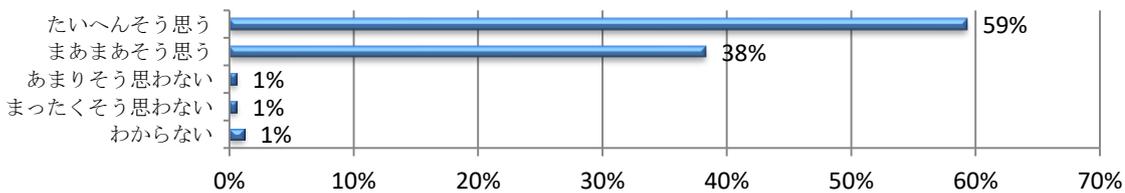
6 「時間を守ろう」「早寝・早起き・朝ごはん」と声かけをしてきました。子どもたちはこのことを意識して生活をしている。



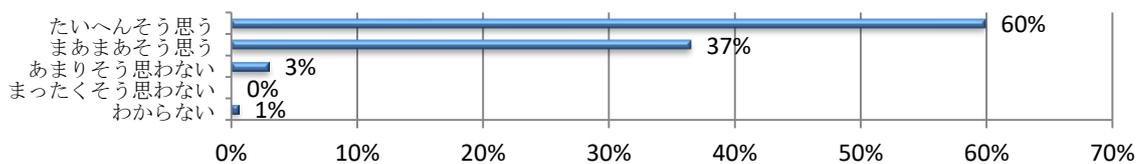
7 年2回の教育相談を実施するとともに、いじめの早期発見・早期解決に心がけています。学校は、子どもたちの様子をよく把握している。



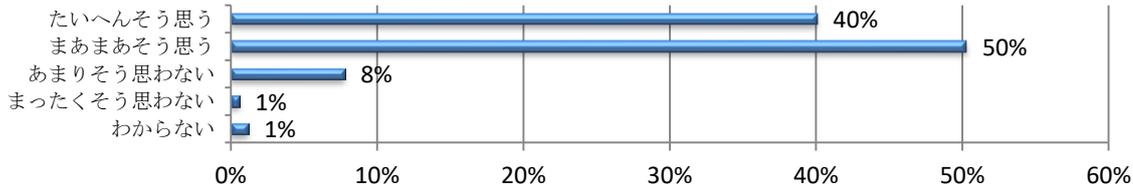
8 すべての子どもたちが、楽しく学校生活を送ってくれることを願っています。子どもたちは、楽しく学校に通っている。



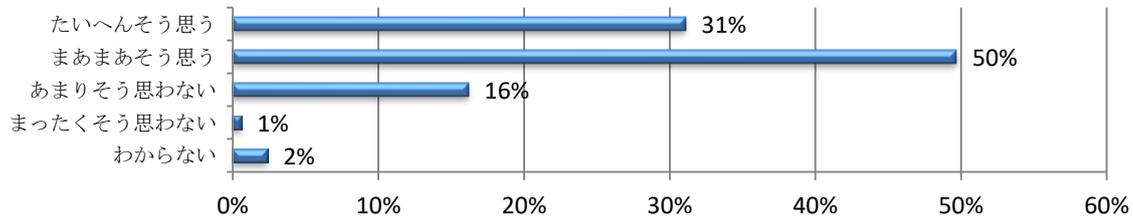
9 下校指導・避難訓練・通学班会議などを行っています。また、毎日の健康観察、保健指導、元気もりもり週間の取組などを計画的に実施しています。学校では、子どもたちの安全・健康に関する適切な指導が行われている。



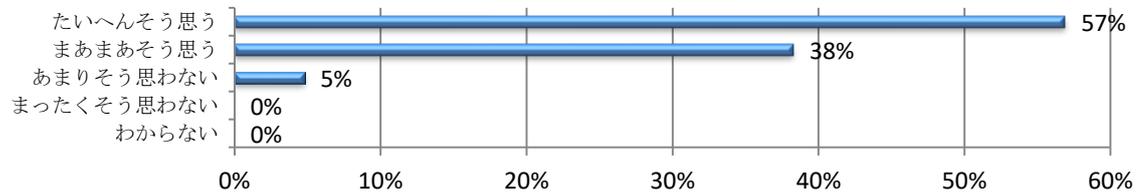
10 自らの健康状態を把握したり、管理したりする力の育成を大切にしています。子どもたちは、自己の安全・健康面の向上について意識して生活している。



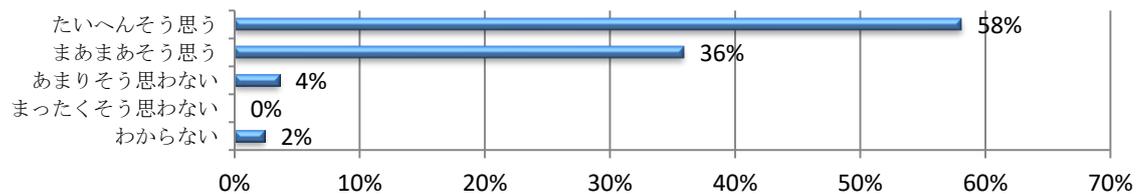
11 子どもたちは、基本的な体力が向上している。



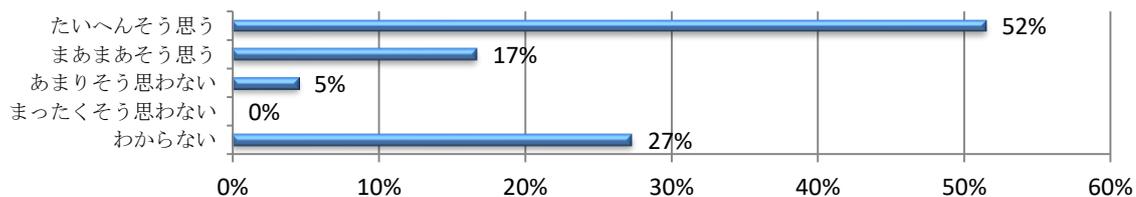
12 学校生活の様子をお伝えするための手段として、学年だより、ホームページやH&Sを活用しています。学校は学校の様子を保護者に伝えている。



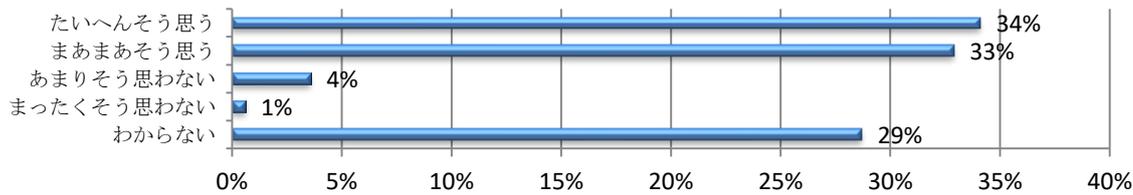
13 保護者から信頼される勝川小学校でありたいと考えています。心配なことや困ったことがあったとき、学校に相談することができる。



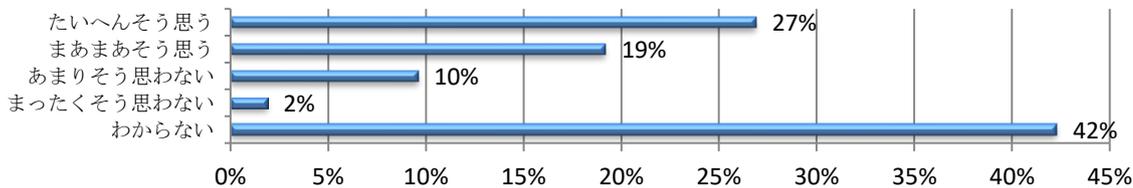
14 5・6年生では教科担任制が実施されています。本年度の高学年教科担任制の取組は適切であった。



15 本校はICTを有効活用した授業改善の取組をしています。本年度のICTを有効活用した授業改善の取組は適切であった。



16 現在、外部講師と見守りボランティアによる部活動運営を実施しています。本年度の部活動の運営は適切であったか。



勝川小学校では、今年度も「年間の教育目標」および「重点努力目標」の達成に向け、全職員で教育活動を推進してまいりました。この度、保護者の皆様からいただいた16項目のアンケート結果を分析しましたので、その概要をご報告いたします。

1. 今年度の成果について

全般的に、多くの項目で「たいへん思う」「まあまあ思う」を合わせた肯定的評価が昨年を上回る高い数値となりました。

学力・学習意欲の向上：「確かな学力（問1）」の肯定的評価は95%（昨年度85%）、「学習への意欲（問2）」は93%（昨年度79%）に大きく伸長しました。

豊かな心と健やかな体：「豊かな心（問3）」および「健やかな体（問4）」、さらに「安全・健康に関する指導（問9）」では、いずれも約97～98%という高い肯定的評価をいただいております。

信頼関係の構築：「学校への相談のしやすさ（問13）」についても94%（昨年度84%）と向上しており、ご家庭との連携が深まっていることを実感しております。

2. 今後の課題と改善に向けた具体的な手立て

一方で、依然として課題が見られる項目や、評価が分かれた項目については、次年度に向けて以下のとおり具体的に取り組んでまいります。

基本的な体力の向上（問11）

現状：「そう思わない」という回答が依然として17%あげられました。

改善の手立て：

「外遊び推奨タイム」の充実：20分休みや昼休み時間に外遊びへの声掛けを行ったり、学級や学年の運動イベントを計画し、日常的に体を動かす習慣を定着させます。

体育科の授業改善：体育部会の主導で、運動量の確保と「できた」という達成感を味わえるスモールステップの指導を徹底します。

ICT活用の可視化（問15）

現状：肯定的評価は昨年度（60%）から約69%に微増したものの、「わからない（27%）」という回答が一定数存在します。

改善の手立て：

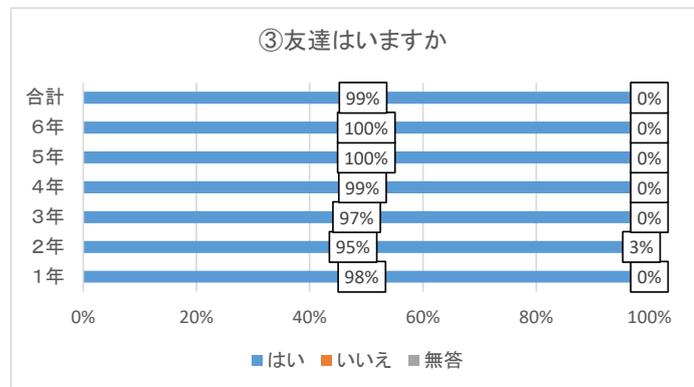
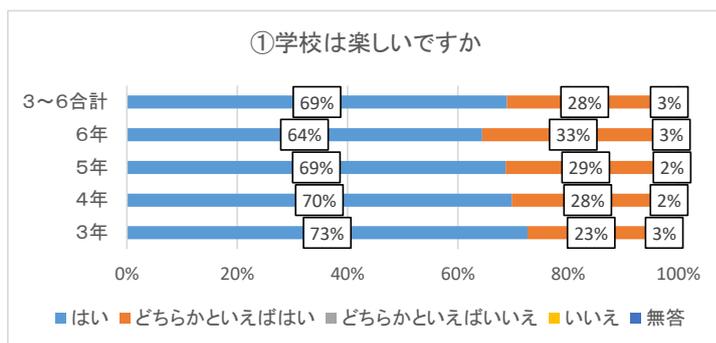
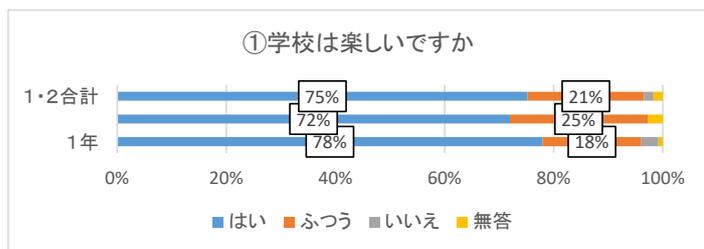
「ICT活用状況」の発信：タブレットを用いた具体的な学習成果物（デジタル新聞や発表スライド等）を、H&Sや学年だよりを通じて定期的に保護者へ公開します。

授業参観での積極公開：来年度の授業参観では、ICTを効果的に活用している場면을意図的に組み込み、実際の学びの姿を直接ご覧いただく機会を増やします。

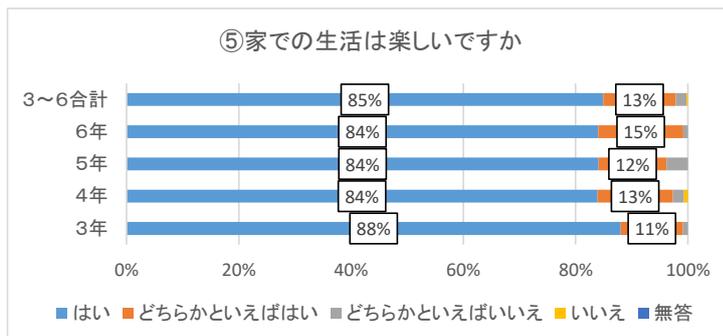
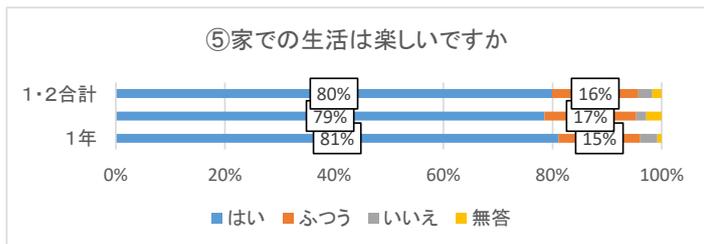
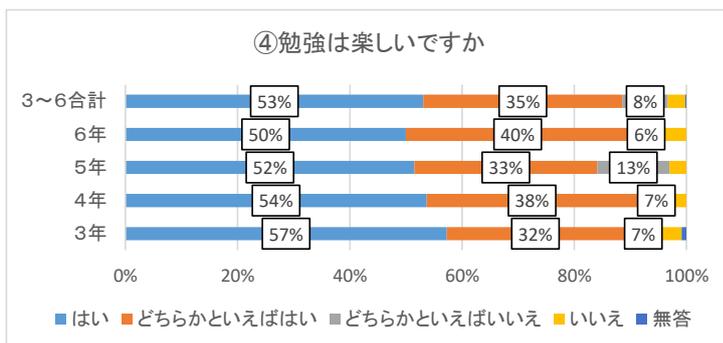
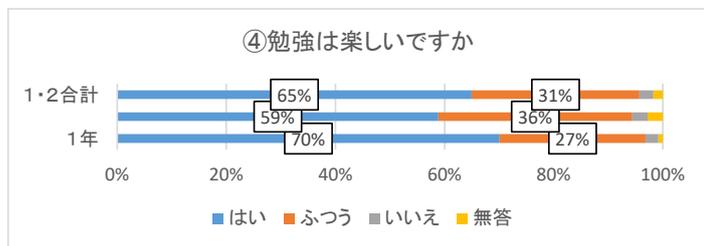
今年度の結果を真摯に受け止め、子どもたちがさらに意欲をもって登校できる学校づくりに邁進してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年度 学校評価アンケート結果について(児童)

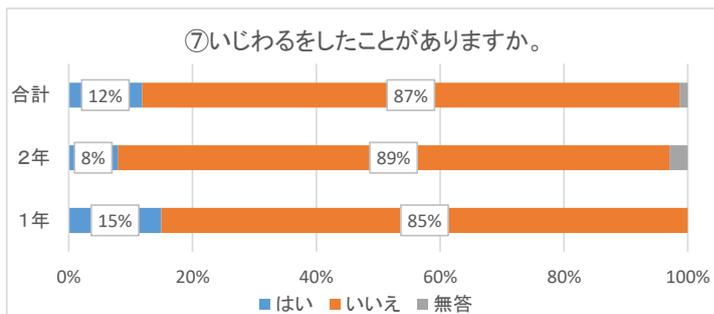
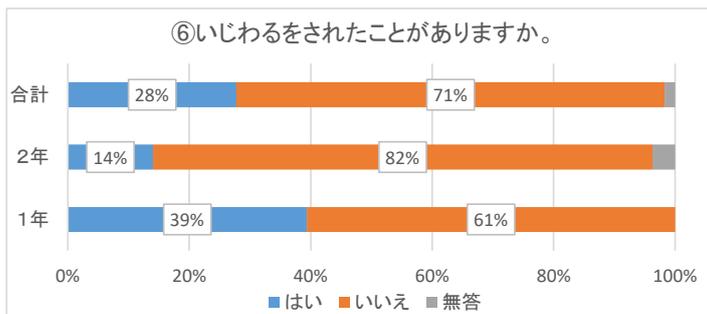
令和7年度 学年末児童アンケート結果



②は記述回答のため集計せず、ここでは掲載していません。

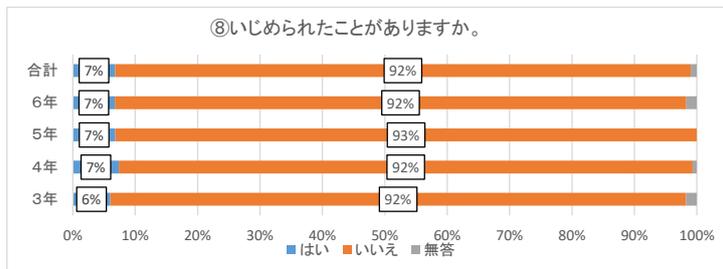


低学年(1・2年用)アンケートより

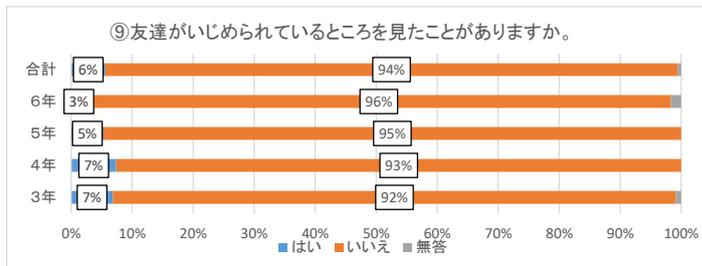


R7年度 高学年(3～6年生)アンケートより

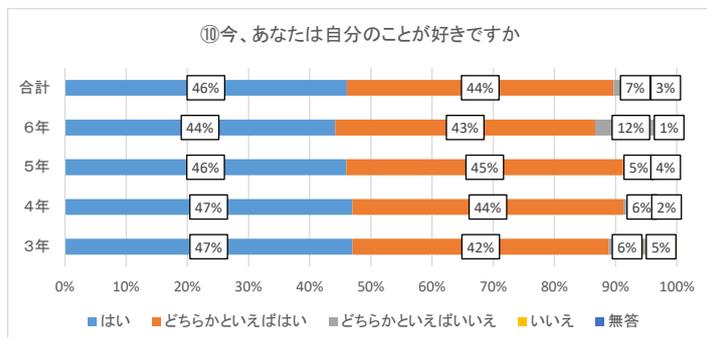
⑧いじめられたことがありますか。



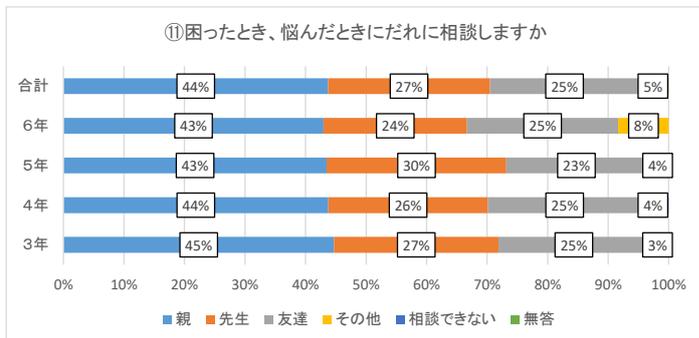
⑨友達がいじめられているところを見たことがありますか。



⑩今、あなたは自分のことが好きですか



⑪困ったとき、悩んだときにだれに相談しますか



「①学校は楽しいですか」については、1・2年生で75%、3年生以上では97%（「はい」「どちらかといえばはい」の合計）「④勉強は楽しいですか」1・2年生で65%、3年生以上では88%が肯定的でした。昨年度の報告にもあるとおり、本校では児童が主体的に学べる研究を継続していますが、特に低学年における「楽しさ」の向上に向け、引き続き授業改善に取り組んでまいります。

人間関係については、低学年の「⑥いじわるをされたことがありますか」で28%、「⑦いじわるをしたことがありますか」で12%という結果でした。一方、中学年以上の「⑧いじめられたことがありますか」は全体で7%に減少しました。また、「⑨友達がいじめられているところを見たことがありますか」も全体で6%と低い水準にあります。今後も全職員で情報を共有し、いじめの未然防止と、発達段階に応じたより良い人間関係づくりに組織的に取り組んでいきます。

「⑩自分のことが好き」全体で90%肯定的意見が見られました。学年別に見ても、いずれの学年も9割前後が肯定的であり、自己肯定感・自己有用感を高めるための様々な場面での働きかけが成果として表れていると考えられます。

「⑪誰に相談しますか」「保護者」が44%、「先生」が27%、「友達」が25%「相談できない」と回答した児童が全体で5%（特に6年生で8%）存在することは看過できません。一人ひとりの変化を見逃さず、より強固な信頼関係を築けるよう努めてまいります。

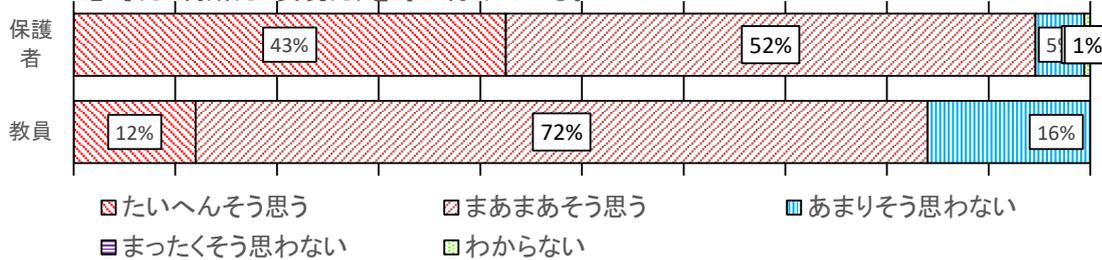
以上のとおり、今年度のアンケート結果からも、本校の児童は概ね順調に学校生活を送っていることが伺えます。現状に満足することなく、引き続き「一人ひとりに寄り添う」姿勢を大切にし、教育活動を推進してまいります。

令和7年度 学校評価アンケート結果について（保護者と教員比較）

今年度も、「学校評価アンケート」を「保護者」と「教員」で実施しました。全部で保護者からは、167名の方、教員からは25名から回答を得ました。

そこで、アンケートの結果について、以下のように「保護者」と「教員」について割合で比較し、考察してみました。

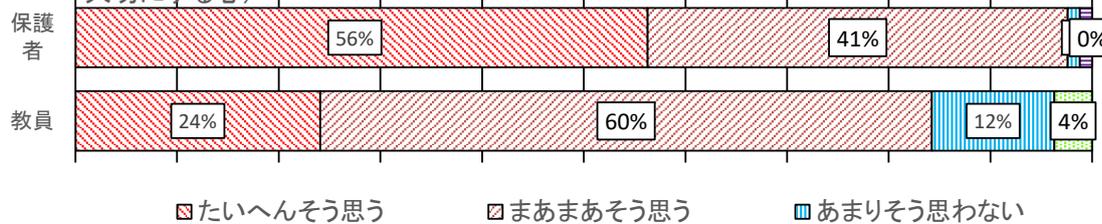
①子どもたちは、確かな学力(生きて働く知識技能)(未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力)を身に付けている。



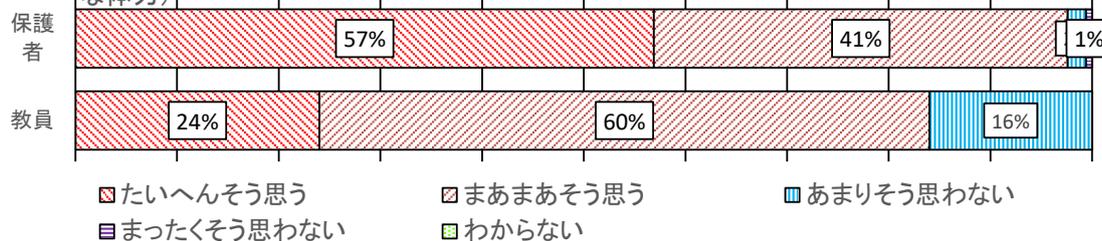
②子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいる。(学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等)



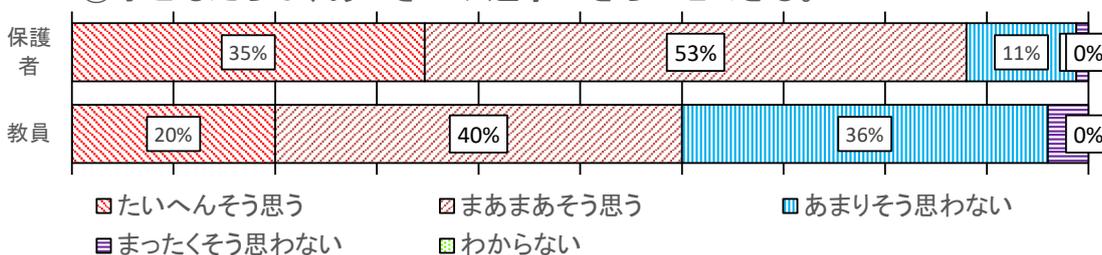
③子どもたちは、豊かな心(人間性)を身に付けている。(自分とともに周りの人を大切にする心)



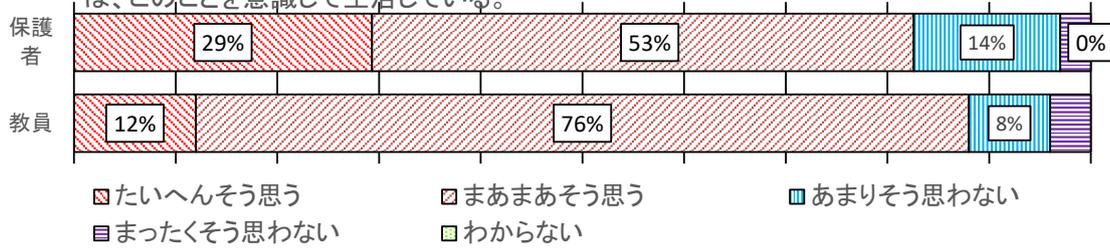
④子どもたちは、健やかな体を身に付けている。(命・体を大切にする心と基本的な体力)



⑤子どもたちは、あいさつや返事がきちんとできる。



⑥「時間を守ろう」「早寝・早起き・朝ごはん」と声かけをしてきました。子どもたちは、このことを意識して生活している。



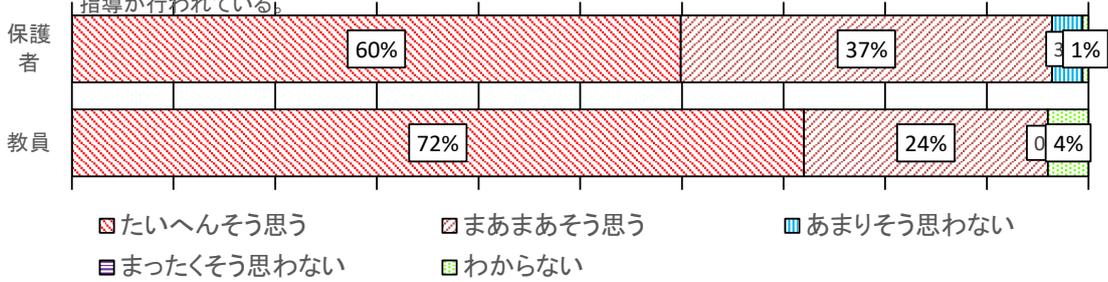
⑦年2回の教育相談を実施するとともに、いじめの早期発見・早期解決に心がけています。学校は、子どもたちの様子をよく把握している。



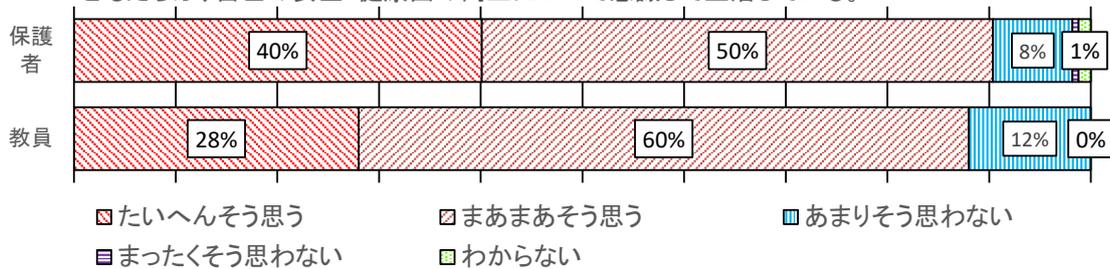
⑧すべての子どもたちが、楽しく学校生活を送ってくれることを願っています。子どもたちは、楽しく学校に通っている。



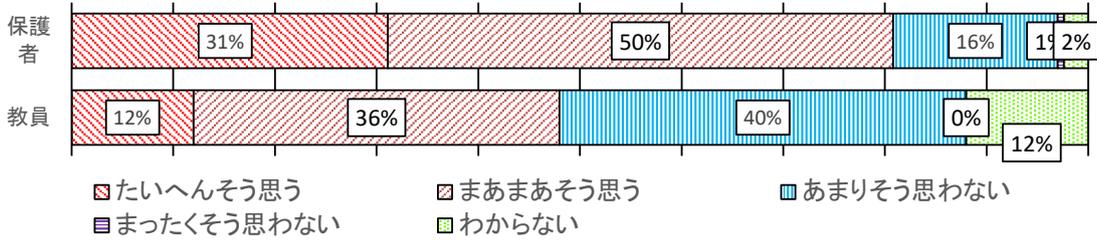
⑨下校指導・避難訓練・通学班会議などを行っています。また、毎日の健康観察、保健指導、元気もりもり週間の取組などを計画的に実施しています。学校では、子どもの安全・健康に関する適切な指導が行われている。



⑩自らの健康状態を把握したり、管理したりできる力の育成を大切にしています。子どもたちは、自己の安全・健康面の向上について意識して生活している。



⑪子どもたちは、基本的な体力が向上している。



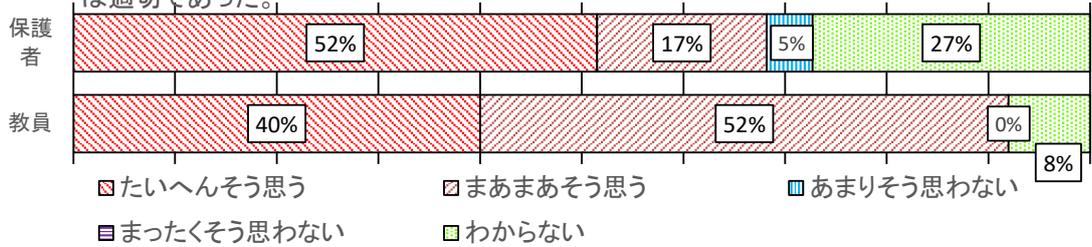
⑫学校生活の様子をお伝えするための手段として、学年だより、ホームページやH&Sを活用しています。学校は学校の様子を保護者に伝えている。



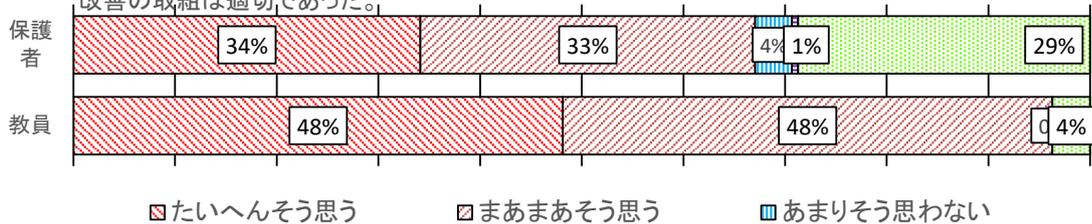
⑬保護者から信頼される勝川小学校でありたいと考えています。心配なことや困ったことがあったとき、学校に相談することができる。



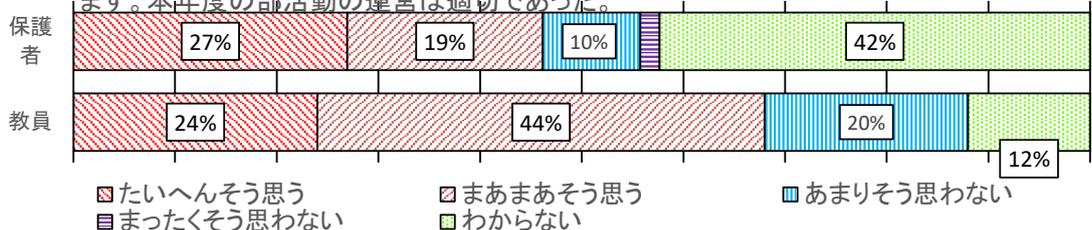
⑭5・6年生では教科担任制が実施されています。本年度の教科担任制の取組は適切であった。



⑮本校はICTを有効活用した授業改善の取組をしています。ICTを有効活用した授業改善の取組は適切であった。



⑯現在、外部講師と保護者の見守りボランティアによる部活動運営を実施しています。本年度の部活動の運営は適切であった。



○問 2

「子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいる」本項目において、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した教員は0%でしたが、保護者は8%（「あまり」7%、「まったく」1%）でした。学校では、ほぼ全ての児童が意欲的に学習に取り組んでいると捉えています。家庭での様子や捉え方には僅かながら差が見られます。児童一人一人の興味・関心を尊重し、自己肯定感をもちながら学習に向かえるよう、引き続き家庭との連携を深めていきたいと考えています。

○問 7

「学校は、子どもたちの様子をよく把握している（いじめの早期発見・解決等）」学校全体で「いじめは許さない」という共通認識のもと取り組んでいますが、保護者の6%（「あまり」5%、「まったく」1%）が否定的な回答をしており、さらに10%が「わからない」と回答しています。一方、教員側も12%（「あまり」8%、「まったく」4%）が否定的な回答を示しています。日常的な意思疎通や個人懇談の機会をより一層活用し、学校での子どもたちの様子を丁寧に伝え、安心感をもっていただけるよう努めてまいります。

○問 1 1

「子どもたちは、基本的な体力が向上している」この項目では、教員の40%が「あまりそう思わない」と回答しており、課題意識が顕著です。保護者の否定的な回答は17%（「あまり」16%、「まったく」1%）に留まっていますが、授業等で間近に観察できる教員側がより厳しい現状認識を持っていると言えます。体力向上のための手立て（なわとびウィーク等）を継続しつつ、次年度に向けた教育課程の編成において改善策を検討してまいります。

○問 1 5

「ICTを有効活用した授業改善の取組は適切であった」教員は96%（「たいへん」48%、「まあまあ」48%）が肯定的であるのに対し、保護者で「たいへん」「まあまあ」と答えた割合は計67%に留まっています。特に保護者の29%が「わからない」と回答している点は課題です。ICT活用の実態が家庭に見えにくい可能性があるため、授業公開や広報を通じて判断材料となる情報を積極的に提供してまいります。同時に、教職員に対しても、授業改善が子どもたちの深い学びにつながるよう、継続的な研修と説明を行ってまいります。